

日本共産党提案の意見書 4 件採択

LGBT差別解消の法整備、「少人数学級」の実施
女性差別撤廃条約選択議定書の批准、建設アスベスト被害者救済

「議員定数の削減を求める請願」不採択

6月議会 主な議案等の賛否結果		意見書									
議案・請願		意見書									
◎ 提出	○ 賛成・可決・採択	▲ 退席	● 反対・否決・不採択	低所得者の子育て世帯特別給付金支給	議員定数の削減	「少人数学級」の実施	女性差別撤廃条約選択議定書の批准	LGBT差別解消の法整備	建設アスベスト被害者救済	教員免許更新制の廃止	「東京五輪」開催中止
※前進かすかべ。未来の会 ☆古い政党から国民を守る党				○	●	○	○	◎	◎	◎	◎
日本共産党	(6)	○	●	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
新政の会	(9)	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●
※前進かすかべ	(6)	○	◎	●	○	○	○	○	○	○	●
公明党	(6)	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●
無所属	(1)	○	▲	●	●	●	●	●	●	●	●
無所属	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無所属	(1)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
☆無所属	(1)	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
結果		○	●	○	○	○	○	○	○	●	●

6月17日（木）、6月定例市議会が討論・採択をおこない閉会しました。市長提案の議案14件はすべて可決されました。

日本共産党は、全ての議案に賛成し、継続審議となっていた「議員定数削減を求める請願」に反対しました。

日本共産党提出の、「LGBT（性的少数者）に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書

「東京五輪開催の中止を求める意見書」と、「教員免許更新制の廃止を求める意見書」は不採択となりました。

なお、請願が採択されていた「早期に少人数学級の実施を求める意見書」と、「建設アスベスト被害者の早期救済を求める意見書」は採択されました。

東京五輪開催の中止を求める意見書不採択

「ふたり親の住民税非課税世帯に特別給付金（1人あたり5万円）を支給する補正予算」が全会一致で可決されました。



うづき武彦	松本ひろかず	並木としえ	大野とし子	今尾やすのり	坂巻かつのり
総務委員会委員 議会改革検討特別委員会委員 議会運営委員会委員	党市議団長 議会運営委員会委員 教育環境委員会副委員長 市立医療センター運営委員会委員	党市議団幹事長 厚生福祉委員会委員 市立医療センター運営委員会委員	厚生福祉委員会委員 国民健康保険運営協議会委員 江戸川水防事務組合議会委員	建設委員会委員 広報広聴委員会委員 都市計画審議会委員 埼葛斎場組合議会議員	総務委員会委員 広報広聴委員会副委員長 議会改革検討特別委員会委員

党市議団の要望で実現！

「生理用品」6月から無償配布開始

《配布等の内容》

1. 配布は原則2パック（ナプキンの種類は選べない。紙袋で渡す。）
2. 配布場所・時間
 - ① 市役所 本庁舎1階 こども相談課
 - ② 市役所 本庁舎3階 生活支援課
 - ③ 市役所 別館3階 市民参加推進課
 - ④ 庄和総合支所 2階 福祉・健康保険担当
※平日8時30分～17時15分
 - ⑤ 「ハーモニー春日部」
※祝日を除く毎日8時30分～21時
 - ⑥ 春日部市保健センター
※祝日を除く毎日8時30分～17時15分
 - ⑦ 「エンゼルドーム」「スマイルしょうわ」
※祝日を除く毎日10時～18時
 - ⑧ 「ゲーかすかべ」
※祝日を除く毎日10時～20時
3. 窓口に設置した案内表示を指さしてください。住所・名前等は確認しません。

市役所・ハーモニーなどで配布

春日部市は、6月18日（金）から「生理用品の無償配布」を開始しました。

党市議団が、5月14日に石川市長に「生理用品の無償配布に関する要望書」を提出し実現しました。

なお、学校にも「トイレットペーパーと同じようにトイレに設置すること」を教育委員会に要望しました。

ヤングケアラーの実態を調査し、総合的な支援体制の整備を

ヤングケアラーは、大人がやるべき家族の介護や家事を行っている18歳以下の子どもです。

昨年、埼玉県が高校2年生を対象に調査し、国も高校2年生と中学生を対象に調査して結果を報告しました。結果は下表の通りです。

うづき武彦議員が、6月議会の一般質問で取り上げ、「市として

も実態を調査し、ヤングケアラーとなっっている家庭全体を支援するよう」求めました。

こども未来部長は「今年度子どもへの貧困についての調査をするので、その中でヤングケアラーについても調査したい。令和5年2月にこども家庭総合支援拠点を設置して、社会福祉士や保健師などを配置し関連機関と連携して家庭全体を支援したい」と答えました。

「児童相談所の設置」を

党市議団 埼玉県に要望

4月21日（水）党市議団6名は、大野元裕県知事に「春日部市に児童相談所の設置を求める要望書」を提出しました。

越谷児童相談所は3市3町で人口73万人の地域を担当し、大変な状況です。

福祉部少子化対策局長は「知事は増設を公約しています。今年度から朝霞市への設置を進めています。要望は重く受け止めます。」と回答しました。



埼玉県福祉部少子化対策局長(中央)に要望書を手渡す党市議団6名

埼玉県の調査 (高校2年生)	○ヤングケアラーの割合	4.1%
	○ケア時間が2時間以上	
	・平日	25.1%
	・休日	41.4%
	○生活などへの影響	
	・孤独を感じる	19.1%
	・ストレスを感じる	17.4%
	・勉強の時間がとれない	10.2%
	・自分の時間がとれない	9.8%
	○必要とする支援	
・相談できる場所	16.0%	
・信頼して見守ってくれる大人	14.5%	
・勉強のサポート	13.2%	
国の調査	○ヤングケアラーの割合	
	高校2年生	4.1%
	中学2年生	5.7%
	○ケア時間平均	
	高校2年生	3.8時間
中学2年生	4.0時間	

